

農技セ第2534号  
平成21年10月1日

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成21年度農作物病害虫発生予察情報について

平成21年度農作物病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成21年度病害虫発生予察注意報第1号

平成21年10月1日  
徳 島 県

農作物名 ネギ  
病害虫名 ネギハモグリバエ

- 1.発生地域 青ネギ栽培地帯
- 2.発生時期 10月上旬～
- 3.発生程度 甚(平年よりやや多く,前年よりやや少ない)

4.注意報発令の根拠

- 1)7月から9月中旬にかけてのネギハモグリバエの発生は,ほぼ平年並で推移していたが,9月28日に実施した巡回調査では,発生圃場率が100%,葉の被害度が31.8となり,平年(86.3%,24.8)と比べてやや多めの発生となった。発芽直後の幼株にも,成虫及び産卵痕が多数見受けられており,今後更なる発生が懸念される。
- 2)9月25日発表の1ヶ月予報では,気温は高い確率が50%,降水量,日照時間は平年並の確率が40%とされており,やや発生助長的気象条件である。

5.防除法等

- 1)次世代の発生を抑制するためにも,被害を受けた植物残渣は圃場に放置せずに,確実に処分する。
- 2)播種時,定植時に粒剤を土壌混和しておき,初期発生の抑制に努める。
- 3)地域内で卵,幼虫,蛹,成虫の各生育ステージが混在しており,1回の農薬散布では効果が期待しにくいので,5～6日間隔で何回か続けて乳剤等による葉面散布を行なう。散布液には必ず展着剤を加える。
- 4)防除等の詳細については県植物防疫指針を参照するとともに,薬剤の使用に当たっては農薬ラベル記載事項を遵守する。